

令和3年度事業報告

事業概要

新型コロナウイルス感染症が発生してから3年目を迎えるとは予想だにできず、今や第7波の襲来あるいは、新たな変異株が確認され一向に終息の兆しが見えていません。ここまで長引けば、会員自身あるいは家族といった近親者の感染もみられ、シルバー事業においても少なからず影響が出ていることは言うまでもありません。また、まん延防止等重点措置により、事業やイベントといった年間行事の中止により経済は低迷を余儀なくされ、多少ではあるが受注のキャンセルといったことがシルバー事業にも影響を与えています。このような状況が今後も続き、仮にさらに長期化するようであれば事業の衰退も懸念されます。

この状況の中、令和3年度の受託事業では前年度対比95%と前年度をわずかに下回りました。またこれに付随する、受注件数や就業延人数なども前年対比95%前後の実績となりました。一方の会員数においても前年度より10名減の183名でした。

請負・委任による事業実績では、民間受注において第一次産業であるりんごと水田農作業の落ち込みが大きく、今年度はこの落ち込みをカバーする職種がなく全体的に減収した状況となりました。この要因は、やはり会員数の減少によるもので、会員数の減は会員数の増で補うことしかできず、依然として厳しい結果となりました。

また、これに対する会員数の増強に向けた有効的な打開策が見つかっていないことも現実としてあります。

このような状況ではありますが、長引くコロナ禍においてもシルバー人材センターの公益目的事業の実現を目指すために、会員増強、受託事業、労働者派遣事業による会員への就業提供の拡大、並びに安全・適正就業の徹底を重点に事業を行いました。

事業実施報告

1. 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な仕事を一般家庭、民間企業、官公庁等から請負により引き受け、会員対し就業機会の提供に努めました。

受託事業実績では、前年度に比べ受注件数で109件の減、就業延人員は606人日の減、これらに比例し契約金額は前年度対比95%、336万円の減額となりました。減額の要因として、農作業に従事していた会員の退会

あるいは体調不良により就業ができないなどの影響で減額となりました。そうした中でも新型コロナウイルス感染症関連の受注で、集団接種会場の交通誘導業務といった受注により約102万円の増額もありました。また、今冬の除雪に係る受注では、大雪となったわりには、2月以降の降雪が少なく約11万円の微増に留まりました。

(2) 労働者派遣事業

臨時的かつ短期的な業務に係る派遣労働者又はその他の軽易な業務に係る派遣労働を希望する会員を対象に労働者派遣事業を行いました。

派遣事業実績は、前年度に比べ9件の減、就業実人員では3人の減、就業延人員では208人日の減となっております。契約金額は合計で1,172万円、前年度対比86%、約180万円の減額になりました。継続的な業務に従事していた会員が体調不良になり離脱し、それに代わる会員の補充ができなかったことが大きな要因になります。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正対策推進事業

安全対策については、安全就業推進のため、就業時の安全管理や健康管理の徹底、就業の行き帰り等の交通安全等に対して、事務局だよりを通じて全会員へ周知し個々の意識の高揚を図りました。

また、安全・適正就業推進員による安全パトロールについては、コロナ禍でもある事から見送りました。

令和3年度の事故発生状況は、傷害事故が6件、損害賠償事故が4件発生し、何れも草刈り作業中による事故となりました。これらについて、事故状況を把握し、令和4年度では安全適正就業委員並びに役職員が一丸となり、防止対策に努め、事故ゼロを目指します。

(2) 普及啓発事業

30周年を迎え、広報「シルバー黒石」を発行し、市内全世帯へ配布するとともに、PR活動を積極的に行い、シルバー人材センター事業への理解と普及啓発に努めました。

また、「シルバーの日」では、駅前広場の清掃奉仕活動や市民へ手渡しによるチラシ配りや付近世帯へのポスティングを行いシルバー人材センター事業への理解と普及啓発に努めました。

会員拡大については、「一会員一人獲得運動」を展開させ、それと同時に新入会員を紹介すると対象となる会費割引制度も並行して実施した結果、

3名の紹介がありました。入会説明会は希望者が訪れた際、その都度実施され新規会員の入会促進に取り組みました。しかし、年度末の退会者数では高齢や病気等の理由により男女合わせて27名が退会され、前年度に比べ10名の減となってしまいました。

(3) 就業開拓提供事業

高齢者にふさわしい仕事を発注者から引き受け、会員の希望、知識、経験等を考慮しながらグループ就業やローテーション就業を推進させ、就業機会の提供に努めるとともに、受注拡大のため会員による就業開拓運動を継続的に実施しました。

3. 就業機会提供のための独自事業

高齢化が進むにつれ一人暮らし世帯が急増し、日常生活で困っている依頼に対し、シルバー人材センターで出来る範囲のことは迅速に対応し、「困った」を「安心した」にする作業を家事介護班及び高齢者世帯除雪隊が責任をもって実施し市民に安らぎを与える就業を展開させました。